2019/01/07　　作成者：二村　有希

野外オペレーション作業報告

・行き先：インホブデ
・期間：2019 年 01 月 05 日(土)
・参加者(敬称略)：[60 次] 二村、藤田(光)、[59 次] 内田(へ)
・輸送・移動手段：CH92

・物資：
1. バッテリー(Sunlyte 12-5000X、100Ah)　4 個 (昭和物品)
2. 起動用 CF カード(本番、予備各 1 枚)
3. CF カードリーダー(昭和物品)
4. 起動確認ターミナル
5. ノート PC
6. 作業手順書
7. 通信機(予備電池付き)
8. ハンディ GPS
9. 常温収縮チューブ 3 本、自己融着テープ、ビニールテープ、インシュロック、カッター、ケーブル縛り紐、ジップロック、ニッパー、予備キャップ (昭和物品）
10. バッテリーチェッカー(ML-100) (昭和物品)
11. 背負子　2 つ (昭和物品)
12. 発動発電機
13. 燃料携行缶
14. 非常用野外装備品、非常食

・ヘリオペ時刻：

[往路] SSA	→ S16	→ インホブデ	[復路] インホブデ	→ SSA
08:06	08:15/08:17	09:06	15:21	16:01

※S16 で内田(へ)ピックアップ

・昭和基地との通信手段：イリジウム電話

・気象状況：晴れ
[到着時] 風向：北、風速：1 m/s 、気温：0.8 ℃、気圧：976 hPa

・観測機設置場所の緯度経度：S 69 ° 00‘ 25.12”、 E 039 ° 34' 37.59”

2019/01/07　　作成者：二村　有希

・作業内容

1．観測の停止

2．バッテリー状態の確認

3．CF カードの交換

4．システムの起動、起動確認

1．観測の停止

09:42　スタートプラグを Start 位置から Stop 位置に差し替える。

09:44 太陽電池パネルからのケーブルを外す。

09:45 バッテリーBOX No.1 からのケーブルを外す。

09:47 バッテリーBOX No.2 からのケーブルを外す。

2．バッテリー状態の確認

手順に沿って観測システム停止後、バッテリーチェッカーを用いて、電圧と内部抵抗値の測定を行った。結果を表１に示す。

表１．インホブデ無人磁力計バッテリー状態確認の結果

BOX 番号	バッテリー番号	電圧 [V]	内部抵抗 [mΩ]
No.1	83	12.28	4.6
	84	12.28	5.4
No.2	85	12.28	4.9
	86	12.28	4.4

全てのバッテリーが良好な状態だったため、バッテリーの交換は行わなかった。

3．CF カードの交換

09:55 CF カードを交換する。

4．システムの起動、起動確認(09:24-09:40)

10:03 Start 位置に起動確認ターミナルを接続する。

10:04 起動確認ターミナルの電源を ON にし、全ての LED が点灯しすぐ消灯することを確認

10:05 バッテリーBOX No.1 ケーブルを接続する。

10:06 バッテリーBOX No.2 ケーブルを接続する。

10:07 太陽電池ケーブルを接続する。

10:08 スタートプラグを Stop 位置から引き抜く。

10:09 起動確認ターミナルの「バッテリチェック」が点灯し、「レンジ設定」が点滅する。
10:14 起動確認ターミナルの「レンジ設定」が点灯し、「GPS 計測」が点滅する。
10:42 起動確認ターミナルの「GPS 計測」が点灯し、「温度計測」と「ファイル保存」が点滅する。
10:47 起動確認ターミナルの「伝送」が点滅する。
10:48 起動確認ターミナルの「回線接続」が点灯する。
11:38 起動確認ターミナルの「レンジ設定」が点滅し、「伝送」が点灯する。
13:30 起動確認ターミナルの「スリープ」が点灯する。（図１）
13:32 起動確認ターミナルの電源を OFF にし、コネクタを Star 位置から外し、そこにスタートプラグを差し込む。



図１．起動確認ターミナルの「スリープ」が点灯

申し送り
・バッテリー状態の確認で取得した値をバッテリーに記載するために、養生テープとマジックを持っていく必要がある。